

MTI、「完成車物流の現場でデジタル化推進」

Monohakobi Techno Forumで研究成果報告

日本郵船グループ会社で、物流技術の研究開発やコンサルティングを手掛けるMTIは11日、東京・平河町の海運ビルで「Monohakobi Techno Forum 2016」を開催し、自社の研究成果を報告した。海運業界関係者240人が参加した。

物流グループの栗本繁氏は「NYK自動車物流事業への技術貢献」と題した講演を行い、郵船グループの完成車物流事業を支える技術を紹介。サービスの向上、現場の「見える化」の促進のために①完成車輸送トラッキング②完成車のインアウト管理③完成車の拠点内位置管理—などに取り組んだことを説明。栗本氏は、「デジタルライゼーションが進んでいる自動車業界に



対し、製品である完成車を運ぶ物流の領域においてもデジタル化が必要。これらはモノの位置や動きを把握する『見える化』のキーとなる技術だ」と述べ、実用化に向け検証作業に注力する考えを示した。そのほか5講演が行われた。

Skangas社、スタットオイルに船舶用LNG燃料を供給

来年からPSVに

ノルウェーのガス会社であるSkangas社は、同国の石油大手であるスタットオイル社と、LNGを燃料とするプラットフォーム・サプライ船（PSV）へのLNG供給で合意したと発表した。期間は来年4月から2020年末までで、最大4年間の延長オプション付。同社は、来春竣工予定の5800m³型のフィーダーLNG船兼LNG燃料供給船“CORALIUS”で、ノルウェー西岸のモングスタッド、フローレ、クリスティアンスンなどでPSVにLNGを供給する。

同社は、北欧でLNG製造・販売事業などを行うガス会社で、LNGターミナルも運営する。船舶用LNG燃料の供給事業にも力を入れてお



り、来年にはケミカル船社のシリウス社とガス船社のアンソニー・バーダー社の合弁会社であるシリウス・バーダー・ガス社から長期用船する“CORALIUS”で、LNG燃料船へのLNG燃料供給事業を開始する計画。